

ご報告とお礼

拘束型心筋症を患い、海外心臓移植のため募金活動をさせて頂いていた秋也ですが、2017年12月16日（現地時間）にアメリカにて移植手術を終え、2018年6月26日に無事帰国を果たすことができました。

早いもので、手術をしてから間もなく1年を迎えようとしています。
手術に到るまでは、元気に過ごせる日がいつか来る事を願い期待しながらも不安な気持ちがふつと湧き起り、「大丈夫！絶対やりたい事が出来るようにしてあげる！」と折れそうな心を毎日奮い立たせていた事を思い出します。

皆様のお力をお借りして、今秋也は元気になりました。
9月から、午前中のみですが念願であった学校生活が送れるようになり、休みの日にはお友達と遊びに出かけたりする事も出来るようになりました。今年の誕生日には、自宅で家族と共にお祝いをする事も出来ました。こんなに元気な姿を見る事が出来るのは、多くの皆様に多大なるご支援ご協力、そして大きなご声援を頂けたおかげだと心より感謝いたしております。今月には、術後1年のカテーテル検査の為大阪大学医学部付属病院に入院する事になっております。まだ安定したとは言い難い状態で不安は尽きませんが、これからもドナーの方とご家族のお気持ち、また感謝の念を忘れず、秋也の中で生きる2つの命を大切に守っていかうと思っております。

街頭募金活動などでボランティアとしてご協力いただいた皆様、募金箱やポスターを設置して下さった皆様、我が事のように多方面に声をかけて下さいました皆様、イベント会場でご協力下さった皆様、個人でまた団体でご寄付をいただきました皆様、メディア関係の皆様、ご尽力いただきました医療関係の皆様、救う会の役員として労を惜しまず協力して下さった友人達をはじめ、秋也の命をつなぐためにご支援ご協力下さったすべての皆様に心から感謝を申し上げます。

本来ならば直接ご挨拶申し上げるべきところ、大変略儀ではございますが書面にて皆様に御礼申し上げます。これまでのご支援ご協力、本当にありがとうございました。

末筆ではございますが、皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げ両親からの挨拶とさせて頂きます。

2018年12月吉日
菊地陽介・一実